

市議会12月定例会

条例改正や補正予算など21議案を審議



市議会12月定例会が、11月25日(火)から12月11日(木)までの17日間の日程で行われました。条例改正や補正予算など21案件が審議されました。主な議案を紹介します。



一般会計補正予算(第5回)

既定の予算総額に1億1,700万円を追加し、歳入歳出予算額をそれぞれ241億9,900万円としました。

●市民安全対策費について(232万5千円)

全国瞬時警報システム(Jアラート)を更新するため増額します。

●生活保護費について(1億351万5千円)

被保護者及び医療費扶助の増加が見込まれることから増額します。

●保健衛生費について(1,306万5千円)

福祉保健会館のエレベーター改修工事などにより増額します。

●商工費について(237万6千円)

ヘルシーパーク裾野施設修繕に伴い増額します。

●都市計画費(4,586万6千円減額)

事業の実績により公園費を減額します。

●国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、企業版ふるさと納税地方創生特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の補正など

議案

●裾野市立幼保連携型認定こども園条例を制定することについて

令和8年4月1日から新たに幼保連携型認定こども園を設置することに伴い、条例を制定します。

●裾野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定することについて

児童福祉法の一部改正に伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定めるため、条例を制定します。

●公の施設の区域外設置及び利用に関する長泉町との協議について

効率的に裾野市公共下水道を整備するために、裾野市の公共下水道を長泉町内に設置し、当該施設を長泉町の住民の利用に供することについて協定書の一部変更を長泉町と協議します。

●土地改良事業(公文名堤地区)の緊急防災工事計画の策定について

公文名地内の公文名堤における土地改良事業(急施設の防災事業)を行うため、緊急防災工事計画を定めます。

一般会計補正予算(第4回)専決処分

規定の予算総額に1,200万円を追加し、歳入歳出それぞれ240億8,200万円としました。

●市民文化センター大ホールスプリンクラー事故に係る国家賠償法2条1項に基づく損害賠償請求等事件の

訴状を受領したため、11月27日までに裁判所へ答弁書を提出する必要があり、これに係る費用について早急に予算措置を行うため、令和7年11月4日に専決処分しました。

一般会計補正予算(第6回)

既定の予算総額に4億4,850万円を追加し、歳入歳出予算額をそれぞれ246億4,750万円としました。

●総務管理費について(2億2,150万円)

物価高騰による市民への支援策として、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して給付

金を支給します。※一部修正案で可決

●児童福祉費について(2億2,700万円)

物価高対応子育て応援手当による全国一律の対応として、児童手当対象児童1人につき子育て応援手当を支給します。